

『新しい文化施設の規模・機能』ご意見のまとめ（抜粋版）

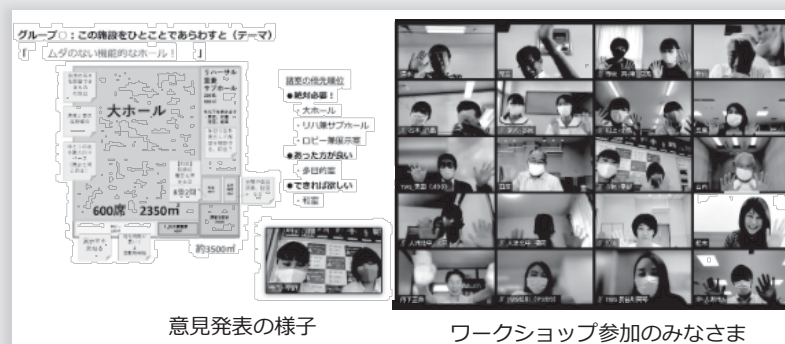
	このような施設を考えました！	諸室の優先順位
Aグループ	テーマ：「みんなでわいわい楽しむ施設！」 メインホール 800席 スポーツ選手の講演会やダンス公演で学校単位で集まるために大きなホールを！ これから広まってくるeスポーツにも対応！ 打楽器を運搬するための広いバックヤード ステージ裏に行くまでの通路を広く リハ室 会議室 大 練習室 大 和室 多目的 物販 飲食 交流 防災備蓄庫 運営 事務室 <リハーサル室> 展示室等にも使える重ね使い <練習室> ダンス練習のための鏡張り <スタジオ> 楽器練習や詩吟のためには防音が大事！ <多目的室> 席数20～50席の用途を絞らない <物販飲食> 農業高校生徒の作ったものを食べられる飲食スペース 農業祭のような販売会を月に1,2回開催 <交流スペース> 自由に勉強できるスペース 飲食しながらでも居られる場所、学校を超えた、市内の交流が深まるようなところ、Wi-Fiの完備	★絶対必要！ ・800席のホール ・防音完備の部屋 ・鏡張りの練習室 ・勉強もできる交流スペース ★あった方がよい！ ・スタジオはたくさんあった方がよい！
Bグループ	テーマ：「ムダのない機能的なホール！」 メインホール 600席 ゆとりのある搬出入スペース（舞台と同じ高さ） 演者と客の動線確保 座席の高さを調整できるものの貸出 リハ室 兼 サブホール 200名 和室 多目的 運営 事務室 ロビー 防災備蓄庫 <リハーサル室兼サブホール> 仕切り等を使用して部屋を複数作る（防音） <和室> 和装の着替え等更衣室（8畳2間） <多目的室> 会議や楽器演奏、控室など <ロビー> 展示室を兼ねる 待ち時間が長い！→自動販売機の設置	★絶対必要！ ・メインホール ・リハーサル室兼サブホール ・ロビー兼展示室 ★あった方がよい！ ・多目的室 ★できれば欲しい！ ・和室
Cグループ	テーマ：「800席のメインホール”ワクワクを伝えたい”」 メインホール 800席 メインホールを核として、市内外のつながりの和の拠点にしたい 舞台芸術特化型 メインホール・サブホール控室は、防音設備が必要 練習小 メインホール控室を練習室・スタジオとして重ね使い 練習大 運営 事務室 防災備蓄庫 ロビー サブホール 200名 会議室は総合福祉センターとの共用・連携・共存 <ロビー> 大洲の文化の発信拠点（お祭り、伝統文化）伝統をワクワクするものとして伝えたい一角に物販・飲食スペース 壁面に展示・掲示できるように（日常的な展示、催事の際は総合福祉センター） <サブホール> 控室を楽屋・活動室として重ね使い、1面だけでも鏡張りに（隠すことも可能）平土間汎用性 控室を鏡張りの練習室に音出し・天井高さは展示：2～2.5m 音楽：高い方がよい	★絶対必要！ ・800席のメインホール ・防音のスタジオ ★あった方がよい！ ・展示スペース ・鏡張りの部屋 ★できれば欲しい！ ・伝統文化の発信 ・カフェスペース
Dグループ	テーマ：「音響、音楽、避難所、防災」 メインホール 800席 ホール内は飲食可能に 階段状座席にせず可動式座席 階段状座席にして音響を良く 座り心地の良い椅子(固定席) 母子（親子）室 メインホールとサブホールでピアノを共有できる動線 調理室 多目的 サブホール 200名 防災備蓄庫 運営 事務室 <調理室> 避難所として必要 <多目的室> 練習室を兼ねる <スタジオ> アンサンブルの練習、詩吟の録音 <サブホール> 音楽に特化するようなサブホール 音響重視 固定席希望（すり鉢） サロンコンサート ピアノを共有するのなら、メインホールのステージとサブホールを近くに	★絶対必要！ ・メインホール ・サブホール ・スタジオ ★あった方がよい！ ・調理室 ・多目的室 ★できれば欲しい！ ・着替えのできる部屋 ・和室 ・練習室（小） ・バレエ室（ダンス室） ・リハーサル室 ・団体の備品置場

大洲市民文化会館をみんなで考える市民ワークショップ

第3回

『新しい文化施設の規模・機能を考えよう！』

発行：大洲市 / 編集：(株)シアターワークショップ

“みんなで考える市民ワークショップ”
基本計画編がスタート！諸室の詳細について検討しました！！

意見発表の様子

ワークショップ参加のみなさま

大洲市では市民ワークショップやアンケートなどのご意見を参考に、施設整備の基本的な方向性等をまとめた「大洲市民文化会館（仮称）整備基本構想」を令和3年7月に策定しました。

今年度は、この基本構想を踏まえ、基本計画編と題して、施設の詳細について検討する市民ワークショップを開催していきます。

第3回のテーマは、「新しい文化施設の規模・機能を考えよう！」です。

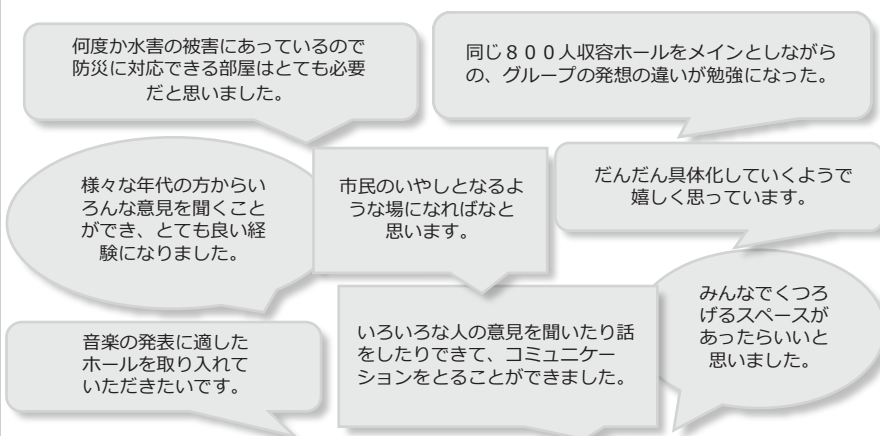
基本構想を踏まえ、大きく分けて次の4つのエリアに対して、必要な諸室（施設構成）について、各グループで意見を出し合いました。諸室を収める想定面積を設定し、施設の規模をイメージしながら、枠の中に諸室を配置して施設構成を作り上げていきました。

「全ての機能を入れようとするとなかなか枠に収まらない」、そんな悩みも、欲しい諸室の優先度や、一つの部屋で複数の使い方をする「重ね使い」を考えながら、皆様の思いがカタチとして出来上がっていました。最後に、出来上がった案に施設のテーマを設定しました。

①「ホールエリア」は、コンクールや学校単位でのダンス公演、学校間の交流イベント、大規模講演会、本物の文化芸術に触れる鑑賞機会の充実等、ホールの使い方についての意見や搬入、利用者の動線に配慮したバックヤード等の広さのほか、楽屋や控室については防音性能を高め、練習室や会議室として重ね使いすることについての意見がありました。

②「創造支援エリア」は、リハーサル室としても使える防音性能の高いサブホールや防音のスタジオ、鏡張りの練習室、和室、用途を限定しない多目的室等の意見がありました。

③「交流エリア」は、学校や団体、世代間を超えた交流が生まれる空間として、販売会や展示、飲食、学生の勉強スペース等の充実を求める意見がありました。

ワークショップ『なんでもアンケート』より
皆様のご意見や感想！（抜粋）

④「防災機能」は、災害時の防災備蓄庫の設置に加え、災害対応の重要性を求める意見がありました。

新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮し、前年度同様、「完全オンライン化」での開催となりましたが、参加者から活発なご意見をいただき、少しずつですが市民文化会館の「カタチ」が見えてきたワークショップとなりました。

次回のワークショップは、9月11日（土）。「新しい文化施設の配置と管理運営を考えよう！」を予定しています。

今回のニュースレターもお楽しみに♪